

おめでとうございます

年頭のごあいさつ



占冠村長 田中正治

明けましておめでとうございます。村民の皆様におかれましては、新しい年をご家族そろって迎えられ心よりお喜び申し上げます。

昨年の占冠村長選挙におきましては、村民の皆様方の暖かいご支援により、無投票当選の栄を与えていただき、その職責の重さを感じながら職務に励んでおります。

私は村政執行の基本を、すべての村民が報われる社会をめざし、「生まれて良かった」「育ってよかった」「暮らして良かった」そして住み続けたいと思える村づくりを目指すとしてお伝えしてきました。

そうした中、議会や住民懇談会、住民フォーラム、各種団体の会議などに出席し様々なご意見やご提言などをいただきました。ひとつひとつのご意見等を大事にし、共に村づくりができるよう取り進めてまいります。

平成30年度に向かつては、住民サービスとの根幹である役場組織の見直しを進め、住民が分かりやすく親しみの持てる役場にしたいと考えています。具体的には職員自らが住民との交流や業務経験などの集積に基づき最適な体制について鋭意検討をしており、住民にとっても職員にとってもより良い組織となるよう機構を見直し、考えている政策が遂行できる体制をめざします。

基本的な政策展開であります。抱えている課題を整理し予算に反映する中で、村民のご期待に反映されるよう努めてまいります。経済循環・移住・定住・起業が活発な社会、それぞれの特徴を生かした集落づくりを進め、働く方々の汗が報われる村づくりなど持続可能な地域づくりを推進します。また、安全で安心な暮らしを守る基盤づくりとして、医療や福祉、交通、防災など生活インフ

ラの拡充と地域協働による安心して暮らせる村づくり、そして、子育て家族が安心して働ける環境整備、教育環境の整備充実、平和や国際感覚を身につけることができる教育など、子どもたちがいきいきと学び、郷土を自慢できる村づくりに取り組んでまいります。とりわけ、保育所の建設に向けての土台づくりは緊急の課題であると考えています。

私自身にとっては、村長としてスタートの年と言ってもよい年であり、目標に向かって一直線に進もうと思っております。

村民各位におかれましては、本年も希望に満ちたすばらしい年でありますようお願い申し上げます。いさつといたします。



新年あけまして



占冠村議会議長 相川 繁 治

村民の皆様、明けましておめでとうございます。

この一年が皆様にとつて、幸せ多い年でありますことを共に願うところであります。

常日頃から村政の議会活動に対し、深いご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年を振りかえますと、日本国内のみならず世界中で、大規模災害が多発し、多くの尊い命が奪われています。こうした中、隣国である北朝鮮の核開発ミサイル発射訓練がエスカレートし、大変危険な状況に進んでいるように感じられてなりません。日本は70年続いた平和憲法のもと、国民が安心して暮らせる国であつてほしいと心から願っています。

一方、村内に目を転じますと、なんと申しましたが、昨年1月23日の星野リゾート・トマムとの調停成立であつたと思ひます。このことは、村政運営に大変重要な事であると同時に、今後確実に履行されるよう努めていかなければなりません。

また、8月には村長選挙が行われ、

過去の懸案事項の一定の整理がついた中、中村村長が退任され、田中新村長の誕生となり、中村村政とは一味違った新たな発想で住民福祉の向上のための政策立案がなされるものと期待を大にいたすところです。

同時に村議会議員補欠選挙がありましたが、立候補者が出ず現在1名の欠員となっております。

最近各町村において、議員のなり手不足が大きな課題となつてきております。二元代表制の地方自治である、一方の議決機関が正常に機能を果たすことができなくなるおそれが出てまいります。

次期改選期までに、村民皆様の議会議員選挙に対するご理解とご協力を切望いたします。

昨年は、地方自治法施行70周年という記念すべき年でありました。

私たち議会としては、南富良野町と、旭川十勝高規格道路について第2回目の話し合いを進めているところです。このことは、村益につながることをの考えに立つてのことです。

今年もまた、1月25日・26日と2日間、村民の皆様との意見交換懇談

会を計画し、初の試みとして中央地区は川添団地集会所で行おうと考えております。その他、双珠別、占冠、トマムと村内4ヶ所で開催を計画しております。大変寒い時期ではありますが、一人でも多くのご参加をお待ち申し上げます。

国は、少子高齢化の時代ではあります。占冠村は上川19町村で人口が増加している数少ない自治体です。

昨年12月8日のクラブメッドの開業は、村の経済面では多くのメリツトが期待できるものの、今後、村としてはインフラ整備など、取り組みなければならない課題も山積しているものと思ひます。

少数議会ではありませんが、議決機関として一人ひとりが知恵を出し合ひ、村発展のため、微力ではありますが一丸となつて努めてまいります。

この一年が皆様にとつて、災害のない、穏やかな一年でありますことを願ひ、年頭にあつたつてのごあいさつといたします。